



田邊 英一郎

TANABE Eiichirou

総合科学科 准教授

教育学修士

◎所属学会：

日本英語学会，英語語法文法学会，
全国高専英語教育学会

◎専門分野：英語

◎キーワード：

多義性の研究，語彙意味論，認知文法

今後取り組みたいこと：

フレーム意味論的観点と広範なコーパスデータを動詞意味論研究に取り入れたいと思っています。英語教育では、最新のニュース記事を教材にした、受講者の興味をそそる授業方法を開発したいと思っています。

英語動詞の多義性の研究

【シーズ紹介】

- 述語分解やフレーム記述を利用して、動詞の多義性やこれに起因する構文交替を説明する研究をしています。
- 動詞(事象)のアスペクトの決定要因を明らかにする研究をしています。
- 動詞の意味を考える際、事象構造に加えて「部分が互いに調整し合って矛盾のない全体を仕上げる(Taylor, 瀬戸(2008))」といった認知文法的観点も利用したいと思っています。
- H23 年度および H22 年度に、学会にて文法指導のありかたを提案する研究発表を行っています。

* 隔年ではありますが、中学生向けの公開講座を担当しています。

* どちらかという初学者対象になりますが、TOEIC 指導を行うことが可能です。

* 山田(2005) (『日本の英語教育』)に「日本の英語教育は大衆の気分に同調している」といった主旨の記述がありますが、私はこれに大いに共感しています。単に時代の流れに迎合するのではなく、英語を教える本当の目的は何か、現実的に学校英語教育に何ができるのかといった問題をいま改めて考えることこそ大切だと思っています。